令和８年度山科区地域保健推進協議会　摘録

１　開催日時
令和８年１０月１４日（水）　　午後２時～３時

２　開催場所
山科区役所第３会議室

３　出席者
委　員：１１名
事務局：　７名
傍聴者：　０名

４　内容
⑴ 開会挨拶（保健福祉センター長）

⑵ 委員紹介

⑶ 部会長及び副部会長選任
部 会 長：榎堀山科医師会会長
副部会長：宮本山科歯科医師会会長

⑷ 議事
（議題１）京都市保健所運営協議会委員に係る部会代表委員の選出について
部会代表委員：中嶋山科区健康長寿推進協議会会長

（議題２）令和７年度地域保健活動実績報告について
⇒事務局から説明

（議題３）令和８年度地域における健康課題と取組について
⇒事務局から説明

(5) 意見・質疑応答
（がん検診について）
委　員：がん検診について、受診者数は資料でわかるが、受診することで、例えば、どれだけ肺がんが発見され、再検査を受けなければならないかが見えてこない。
事務局：精密検査未受診者については保健福祉センターから受診勧奨を行っている。早期発見・早期治療につなげていきたい。

委　員：検診の意義は死亡率を下げるためにある。肺がんの発見率は２％程度であるが、最近は進行した肺がんに対しての治療も進んでおり、検診で発見できた場合の生存率が高いため、がん検診が一層重要になってきている。そのため、発見率については、資料に入れていただきたい。
また、コロナ前と現状の比較が大事である。現状はまだコロナ前に戻っていない。比較ができるように、コロナ前の数値も資料に入れていただきたい。

事務局：肺がん、乳がん検診の受診者数についてはまだ戻りきっていないものの、年々増加してきている。それ以外のがん検診の受診者数については、コロナ前の数値まで既に戻っている。
また、１０月１日から、各区・支所保健福祉センターを中心に実施していた胸部検診について、指定医療機関でも無料で受診できるようになっている。

（出生数・死亡数について）

委　員：出生数を見ると改めてどうにかしていかなければと感じる。一方で、死亡数はどうなっているか。

事務局：約１，７００人である。

（母子保健について）

委　員：ハイリスク妊婦の傾向としては若年の方が多いのか。

事務局：未婚の方が多い傾向にあるが、年齢はあまり関係はない。

委　員：ハイリスク妊婦の中には望まない妊娠の方がいらっしゃるかもしれない。今年２月から、緊急避妊薬が薬局で販売の対象となっており、周知してほしい。

委　員：妊娠・出産に係る診察等が保険診療になればいいと思っている。安心して妊娠・出産できる環境づくりが大事である。

（歯科保健について）

委　員：歯科保健については、歯周病などの治療から口腔機能の維持・改善を通した健康寿命の延伸を目指すものへと進化している。山科歯科医師会としては、歯科保健向上に向けて、医師や歯科衛生士の育成をしていきたい。また、１０月３１日に開催する「歯のひろば」において、オーラルフレイルの周知啓発に取り組んでいく。